

2013 年 5 月 20 日

会 社 名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 井 原 勝 美
(コード番号：8729 東証第一部)

**ソニー生命の 2013 年 3 月末市場整合的エンベディッド・バリュー(MCEV)の計算結果【速報】
および経済価値ベースのリスク量について**

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社(社長：井原 勝美／本社 東京都港区)は、本日、2012 年度決算発表を行ないますが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して、適時・適切な情報開示を積極的に行なうため、市場整合的エンベディッド・バリュー(以下、MCEV)の速報値を同時にお知らせいたします。MCEV は、100%子会社のソニー生命保険株式会社(社長：井原 勝美／本社 東京都港区／以下、ソニー生命)の企業価値を経済価値ベースで評価する指標として位置づけられております。

また、ソニー生命における経済価値ベースでの財務健全性に対する投資家の皆様の理解をより深めていただくために、「経済価値ベースのリスク量」もあわせてお知らせいたします。

(単位：億円)

	2012 年 3 月末	2013 年 3 月末	増減 12.3 vs13.3
MCEV	10,415	10,647	+232
修正純資産	4,092	7,708	+3,617
保有契約価値	6,324	2,939	▲3,385
うち、新契約価値	652	416	▲236

2013 年 3 月末のソニー生命の MCEV 計算結果(速報)は、前年度末に比べ 232 億円増加し、1 兆 647 億円となりました。超長期金利の低下により保有契約価値は減少したものの、ALM 目的で購入を進めてきた超長期国債の価格上昇により修正純資産はこれを上回って増加しました。保有契約高を順調に増加させるとともに、ALM の推進を通じて金利低下の影響を軽減することにより、MCEV は増加しました。

2013 年 3 月末のソニー生命の**経済価値ベースのリスク量**(税引後)は**6,613 億円**となりました。経済価値ベースのリスク量^(※1)とは、ソニー生命が保有する各種リスク(保険リスク、市場関連リスク等)を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量です。ソニー生命では、適正な管理方針のもと保険リスクを積極的に受入れる一方、金利変動による市場リスクをコントロールすることにより、経済価値ベースの自己資本である「MCEV」に対して適切な水準に保つことで、財務健全性の確保に努めています。

(※1) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1 年 VaR99.5%水準とし、EU ソルベンシー II (QIS5) の標準モデルを参考にした内部モデルを採用しています。

なお、本計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。第三者の検証を受けた 2013 年 3 月末時点の European Insurance CFO Forum Market Consistent Embedded Value Principles¹に準拠した MCEV の公表は本年 5 月 27 日を予定しております。

¹ Copyright © Stichting CFO Forum Foundation 2008

(お問い合わせ先)

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

広報・IR 部 電話：(03) 5785-1074 E-mail：press@sonyfh.co.jp

(ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社のホームページ) <http://www.sonyfh.co.jp/>